

保健だより 「オアシス」

29号 平成26年2月17日発行 津具中学校保健室

「こころに関する標語」を紹介します。



12月末に設楽町の中学生に対して、「こころに関する標語」の募集があり、生徒全員が応募しました。入賞した標語は2月から1年間、設楽町民を対象にした心の健康の啓発に活用されます。なお、入賞者には、したら保健福祉センターから表彰状と賞品が贈られました。



1月末に校内でも「こころに関する標語コンテスト」を行いました。下記のように4名の生徒の標語が入賞しました。入賞者には、学校から表彰状と賞品が手渡されました。

<校内入賞作品>

- ・ 1位 「**大丈夫？ 気づかう気持ちと 広がる輪**」

(3年 古瀬朱理さん)

- ・ 2位 「**あるんだよ みんなの心を つなぐ糸**」

(1年 小久保桃子さん)

- ・ 3位 「**あいさつは 心がつながる 合言葉**」

(1年 村松 ななほさん)

- ・ 3位 「**自分には 自分しかない 良いところ**」

(3年 米倉 僚哉君)

<応募作品>

[1年生]

- ・ 「その命 無駄にしないで」 (一野瀬 結香さん)
- ・ 「一人のね 元気はみんなを 明るくする」 (伊藤 薫君)
- ・ 「その命 一つしかない 宝物」 (今泉 祭里さん)
- ・ 「みんなでね 助け合えれば うれしいな」 (上村 武尊君)
- ・ 「この命 たった一つしかないよ 大切に」 (加藤 紗希さん)
- ・ 「命はね 一回しかないよ 大切に」 (佐々木 香穂さん)

- ・「いやだとね 思ったときに 相談を」 (鈴木 梨瑠さん)
- ・「悩んでも みんなと話して 元気になれる」 (高木 みさきさん)
- ・「悩み事 一人で悩まず 相談しよう」 (古瀬 朱莉さん)
- ・「ありがとう 言えば心が 温まる」 (渡邊 遊さん)

〔2年生〕

- ・「心の輪 助け合えれば 結ばれる」 (芦澤 美月さん)
- ・「ただ一つ 自分の命 宝物」 (今泉 大慈郎君)
- ・「一人じゃない みんながいるよ 相談してね」 (大橋 成美さん)
- ・「心から 大きなあいさつ 気持ちよく」 (金田 恭兵君)
- ・「いのちはね 自分から守る ものなんだ」 (清水 涼帆さん)
- ・「仲良しで みんなが明るい 教室に」 (長谷川 夕莉さん)
- ・「よく見てよ 心の底で 泣いてるよ」 (村松 郁泉さん)
- ・「大切に 一人一人の 宝物」 (村松 亮君)
- ・「のびのびと みんなで生活 できる町」 (山内 楓さん)

〔3年生〕

- ・「友だちの 本当の気持ち 考えよう」 (芦澤 由来君)
- ・「その言葉 かけてあげれば 笑顔だよ」 (今泉 栞奈さん)
- ・「命はね 一つしかない 宝物」 (上村 颯樹さん)
- ・「あいさつを すればただけ 広がる輪」 (加藤 沙弥さん)
- ・「思いやり 小さな気づかい 大事だよ」 (木下 裕仁君)
- ・「その勇氣 その一言で 認め愛」 (小久保 雛子さん)
- ・「大切な 命はみんな 一つだけ」 (村松 アリサさん)
- ・「ねえ聞いて 悩みを言えば スッキリだ」 (村松 泰地君)
- ・「その言葉 自分だったら どう思う？」 (山川 紗良さん)